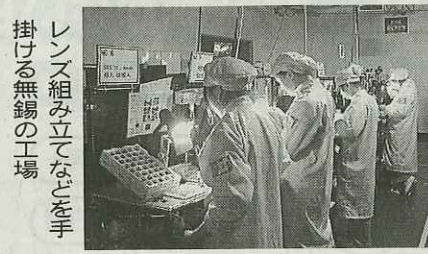


大日光、中国に「職人学校」

無錫の拠点に 人材安定確保狙う 9月にも開設

栃木県日光市に本社を置く電子部品メーカーの大日光・エンジニアリングは中国・無錫(むしゃく)の生産拠点内に、現地の従業員の養成を目的とした研修拠点を9月にも開設する。中国の工業専門学校や職業訓練校と連携、電気・機械分野の基本理論や部品組み立ての実地研修の場として活用してもらう。教育段階からかわり、優秀な技術を持つ人材の確保に力をつけるのが狙いだ。

大日光・エンジニアリングが研修拠点を設ける中国の無錫



研修拠点「匠(たくみ)訓練大学校(仮称)」はレンズ組み立てを手掛ける無錫第2工場内に置く。5千万円程度を投じて、設備や教材などを準備する。工場で働く技術者が教員役となるほか、外部から中国人教官も採用する。

大日光は現在も無錫工場でインターン学生を受け入れている。山口脩男社長は「中国の賃金水準の就職を期待している。すでに中国国内の1校と連携することで合意し、さらに2校とも協議中だ。将来は近郊に研修生向けの寮も用意し、500人規模の受け入れ態勢をつくる。」

タインシップの形で原則1年間、受け入れる。本社工場など日本国内での研修や留学受け入れも検討する。学校を卒業した後は大日光を中心に、周辺に立地するメーカーへの就職を期待している。

東和銀行は10日、不良債権を集中的に処理するため、リーマン・ブラザーズグループと結んでいた資本業務提携を月内に解消すると発表した。提携先のグループ会社が昨年11月に解散したのが理由。これまで連携していたリーマン側の人材とはアドバイザリー契約を結び、今後不良債権の処理に協力してもらう。提携に基づくリーマン側へ

のレンズ組み立ての部品実装などが主国では上海に比較無錫のほか、南部に生産拠点がある。08年秋のリーマヨック以降の景気

働きながら資格取得 県、受け入れ施設募集

栃木県は来年度から、働きながら介護福祉士の資格を取得する人向けの支援事業を始める。希望者を受け入れる施設や事業所を対象に、資格取得に必要な受講料や賃金を支給する。国の雇用対策に基づいた事業で、県はホームヘルパーも含め400人の有資格者を育成する考えだ。

資格取得を目指す人は日中は養成校に通い、休講日、夏休みや冬休みなどに施設や事業所で介護などの仕事に就く。県内の雇用情勢は厳しい状態が続いており「比較的求人が多い介護分野への人材流動化を促したい」としている。

県内事業3件を認定 地域資源活用計画は2件

「地域産業資源活用事業計画」を発表した。栃木県内でそれぞれ3件、2件を選んだ。農工商連携に選ばれた中小企業は、飲食料品卸

菓子製造の「もめ木市」。丸信金アルミ加工技術し、地元の歴史テーマにした文さん弥は県産野菜使った和菓子の指す。

「とちおとめカクテル」



宇都宮市内のバーが加盟し、宇都宮カクテル倶楽部が共同(くらぶ)とJ.A全農とち「とちおとめカクテル」新作の名前

地の利を生かす

関東平野のほぼ中央に位置する茨城県坂東市。良、営業、販売までを一貫して手掛ける「完結型

(茨城・坂東市)



約45ヘクタールの農地で様々なコメを生産する(茨城県坂東市のアグリ山崎)

会社概要
茨城県坂東市助勘新田4422
027-35-4383
1億1000万円
(2009年7月期)
幾栽培米の生産、販売

気候活用